

# 超ヤバい話

地球・人間・エネルギーの危機と未来

広島大学大学院教授

長沼 毅 [著]

◆ISBN : 978-4-86581-111-7 ◆四六判・並製 ◆216ページ ◆2017年8月2日取次搬入発売

## 地球は壊れてしまうのか！人類は滅亡するのか！

広島大学大学院生物圏科学研究科の長沼毅教授が、2014年から2016年にかけて新宿ロフトプラスワンとロフトプラスWESTにて行った「長沼毅のほろ酔い大学」の講義内容を新編集、書籍化！「ここだけの話」がズラリ！  
テーマは「地球」「エネルギー」「人間」。文明を破壊しうる天変地異は起こるのか、原子力や化石燃料に代わる夢の新エネルギー、世界平和の実現という観点から見た「人間」という種族の可能性と限界に迫る！

【本書の内容】  
第1章 天変地異論  
～これからの地球はどうなる～  
・地球は本当に温暖化しているのか？  
・イエローストーン大噴火で文明崩壊？  
第2章 大エネルギー論  
～世界のエネルギー事情最前線～  
・衝撃の2003年、首都圏に原発のない夏があった！？  
・水素燃料電池が世界のエネルギー危機を救う！  
第3章 生物学者から見る「人間」  
・ほ乳類は「愛の動物」  
・ゆるしの技術“If I were you,”



【著者略歴】長沼 毅 (ながぬま・たけし)

1961年、人間初の宇宙飛行の日、三重県四日市市に生まれる。4歳からは神奈川県大和市で育つ。海洋科学技術センター (JAMSTEC、現・独立行政法人海洋研究開発機構) 深海研究部研究員、カリフォルニア大学サンタバーバラ校客員研究員などを経て、現在は広島大学大学院生物圏科学研究科教授。北極、南極、深海、砂漠など世界の辺境に極限生物を探し、地球外生命を追究しつづけている吟遊科学者。

主な著書に『世界をやりなおしても生命は生まれるか？』(朝日出版社)、『考えすぎる脳、楽をしたい遺伝子』(クロスメディア・パブリッシング)、『ゼロからはじめる生命のトリセツ』(角川文庫)、『生物圏の形而上学 一宇宙・ヒト・微生物一』(青土社) などがある。

\*\*\*\*\*

補充注文書	貴店印	発行:さくら舎	長沼 毅 [著]	ご注文
		<b>超ヤバい話</b> 地球・人間・エネルギーの危機と未来		
	ご担当者様	ISBN 978-4-86581-111-7 C0095 四六・並製 本体価格 1,500円+税		<b>冊</b>

TEL 03-5211-6533/FAX03-5211-6481

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-2-11 KAWADA フラッツ1F 株式会社さくら舎 営業部:web

※返品はフリーです。